

平成26年度 保育の質の向上研修 講師と内容

指導講師	主な内容
<p>神戸大学大学院 准教授 北野 幸子</p> 	<p><u>プロジェクト型保育</u></p> <p>遊びや生活、身近な自然の中で、子どもたちが興味や関心を抱いていることからトピックスを見つけ出し、調べたり、深めたりしてさまざまな活動に発展させるプロジェクト型保育について</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちの主体的な活動を支援するため、保育士が、子どもの興味や発見、疑問を見つけ出し、さまざまな活動へ発展させる力や、遊びたくなる環境づくりをするための手法・保育の中で子どもたちがどのように育ち、何を学んでいるかを保護者に伝えるドキュメンテーション等の記録手法
<p>鳴門教育大学大学院 教授 木下 光二</p> 	<p><u>保幼小連携</u></p> <p>保育園(所)や幼稚園と小学校の連携を深めると共に、さらに子どもの育ちや学びを小学校につなげるための連携活動について</p>

プロジェクト型保育推進事業に関わって

平成 26 年度も、プロジェクト型保育推進事業に関わらせていただくことができ、大変実り多い一年となりました。舞鶴市の本事業の試みは、市をあげて、地域で地域の子どもを共に育てよう、そのために保育の質の維持向上を共に図っていこうという、一体的な試みである点が、きわめて先駆的であると考えます。

何よりも、舞鶴市長の乳幼児期の教育、0 歳からの教育に対する深い理解と、強いリーダーシップがこの事業を可能としています。私は、市長とお話させていただく機会に恵まれましたが、乳幼児教育に関する最新の研究の動向に高い関心を示され、深く感銘を受けました。

また、市役所の職員の方々は、「子ども未来室」「教育委員会」その他多くの部局の方が一体となって、大変熱心にこの事業に取り組んでおられます。少子化が進む中、少なくなってきた市の子どもたちを大切にそして、一生懸命、一緒に育てていこうという気概を強く感じます。志半ばで倒れられた方もおられます。その志を受けついでいきたいと強く思います。

さらには、保育現場の先生方が、公私園種を越えて、共により保育を展開していこうという思いを強くもって、大変忙しい中、多くの気持ちと実際の労力を割いて研修に関わってくださいました。よく、やらされる研修(受動的研修)から、自らが主体的に参画する研修(能動的研修)を、と言われるますが、その実現は大変厳しいものです。保育者の先生方の仕事は、子どもの命を守り、かけがえのない大切な時期の成長と学びを育む仕事です。にもかかわらず、現状ではその責任の重さ、労働条件の厳しさは大変厳しいのです。その改善にも乳幼児期の保育の重要性、保育の独自性を家庭や社会に伝播していくことが重要です。社会的認識を高めることが保育の体制の整備にもつながります。安全で安心できる居場所を子どもたちに提供し、さらに、子どもの主体性を尊重しその社会性の育ちや学ぶ意欲につながる実り大きい経験の積み重ねを保障することは、市民の理解なくしては難しいといえます。

この一年、引き続き、保育の原理原則の確認、保育の公開、実践の検討、ドキュメンテーションの作成と検討、改善を繰り返しながら一緒に進めてまいりました。この一年は特に、地域行政の方の思いと、保育現場の多くの先生方の思いが、重なっていく様子を肌で感じました。公立私立を問わず、管理職現場が一体となって、自らの保育を問い直し、保育実践を、ドキュメンテーションを通じて可視化し共に検討することにより、試行錯誤しながらもそれぞれが変化を恐れず、保育の質を問い直しその向上を図ってくださったように思います。行事の見直しや、保護者とのあらたな関係性の構築、自主的な勉強会組織なども立ち上がりました。

舞鶴市で行われたこの一年の試みは、地域の次世代育成の同僚性の形成という、変化をなかなか好まない、またセクト主義に陥る傾向があるように思われる日本の中で、きわめて先駆的な試みであると思います。実際、舞鶴市のこの事業内容は、フレーベル館の『保育ナビ』の 12 月号において特集されました。年度末には、日本保育学会の課題研究委員会より連絡があり、先駆的な試みである舞鶴市の研修事業を平成 27 年度に 2 度、視察したいとの依頼もありました。

来年度も舞鶴市の事業はさらに広がりを見せながら進んでいきます。その発展に期待し、また関わらせていただけることに心より感謝します。

連携を進めるために

舞鶴市の連携教育に関わらせていただくようになってから、5年あまりの歳月が過ぎました。当初は、保育園を中心に進められてきた本市の連携教育ですが、この数年、小学校生活科とタイアップした研修会が実施されるようになり、階段を1段登ることができたことはとても嬉しいことです。幼児期に育った子どもたちの学びや育ちを生かすことができるのは、小学校の先生方に他なりません。

小学校の先生方が幼児教育を学ぶには、保育現場の観察がよいことは言うまでもありません。ただ、単に見ていても遊びや環境の意味を理解するのは難しいので、幼児教育に携わる人に、その場で解説してもらうことがよいでしょう。今回は、私ごとで恐縮ですが、観察の前に集まってもらって、保育や環境を見る上で大切なことをお話してもらいました。ポイントは、次の5点なので本誌でも紹介しておきます。

1. 空間の理解 幼児がどうしてそこにいるのか？
2. 時間の理解 いつからそこにいるのか？
3. 行為の理解 なぜ、それをしているのか？
4. 共存の理解 誰とそこにいるのか？
5. 環境の理解 遊びを生み出す自然物や道具などが整えられているか？

幼児が遊んでいることにおいては、全て意味があるので、それをいかに見いだせるかが大切です。それができて初めて、寄り添ったり、共感したり、遊びを一緒につくりだしたりすることが可能になります。

今回、研修会に参加され、保育参観をされた先生方にはよい学びがあったことと思います。これを機会に、近くの保育園や幼稚園に日常的に足を運び、尚一層、幼児教育を理解してもらえればと思います。

午後からは、秋頃をめやすに一緒にできる楽しい活動をプランニングする研修会を実施しました。せっかく幼小の先生方が顔を合わされたのですから、連携を進めるためにも一緒にできる遊びや活動を計画してもらいました。紙面の都合上、全部を紹介することはできませんが、「だんごdeおみせやさん」という活動は、とても楽しいプランでした。

食育を視野に入れ、実際に団子をつくってお店屋さんを出すのは9月ですが、今回、4月から幼小双方の子どもたちと相談しながら植える野菜を一緒に決める、植える際にどろだんご遊びを一緒にする、5月から6月にかけては、地域の散歩を楽しみながら野菜のお世話をし、野菜の育ち具合を観察し、お互いに報告し合う。また、8月から9月にかけては、お月見の意味を一緒に学び、秋みつけをかねて一緒に散歩する、お団子をつくる、お店やさんごっこを楽しむ等の計画がなされていました。つまり、一過性の交流ではなく、楽しいお団子づくりに至るまでの過程(プロセス)において、顔を合わせ、一緒に遊んだり活動したりする時間がふんだんに、しかも継続的に埋め込まれているのがポイントです。実際の活動では、子ども達の生き生きとした姿が見られたことでしょう。お話を聞かせてもらうのがとても楽しみです。これからも子どものための連携、子どもにとって学びや育ちの多い連携、先生方も一緒に学べる連携を推進して頂ければと思います。



だんご de おみせやさん

① 時期 9月 あき

② 年齢 4歳 年長と1年生・2年生

③ 場所 おれ 体育館 さほら

④ ねらい ① いろいろな味のだんごを
② 工夫で作る。
③ それぞれのそだいのとちやう
を考慮して、協力に楽しく
食べる。

⑤ 材料物

⑥ 流れ・お見の環境

お見の行事 →
「食べた!!」 → みんな
作ろう!!

“どんなだんご食べたい?”

- ・ さつまいも
- ・ おみせ
- ・ くり
- ・ 米粉だんご

大森神社でお会ひともち

★ 分量・かたさを自分たちで考えて
話し合え

“失敗はかろう
ちよと心だんご” “かわかて”

まわりが気になるころ
紹介しあおう

他のだんごも食べたいな……
“お店やさんしたい……”
“かざりつりもほい!!”

事前の流れ

- ・ 4月 植えるものを決める
広い田んぼで…… “あき” 田んぼ
もち米、豆 (あずき、大豆)
- ・ 年長が毎年している活動に1年生
(他学年) も加わる。昔々あき田んぼの世話をする。
- ・ 5月、6月 成長の気付きを報告
し、交流する。
- ・ 8月、9月 お見について知る。
(環境設定)
- ・ 散歩に出掛け、出会い、交流。
(秋見つけ) → 収穫
- ・ だんご作り
- ・ 今年の反省や成果をふまえて
来年度どんなだんごを作りたいか
考え、栽培するものを決める。

同時進行 ↓

★ だんご作り
手の感触・感覚
あきが

★ おみせやさんごこ

〈まとめ〉 ねらいを受けて、それぞれがグループが
発表する。



平成26年度 実施事業一覧

日時／参加者数	内 容	場 所
平成26年5月10日(土) 15:00～16:30 市内保育士及び 保育関係者 約200人	プロジェクト型保育推進事業「保育の質の向上研修」講演会 1. 事業説明 2. 講演「子ども主体の保育～プロジェクト型保育とドキュメンテーション～」 講師:神戸大学大学院 北野幸子 准教授 ※舞鶴保育士会 共催 参加園:永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、タンポポハウス、 平保育園、なかすじ保育園、東山保育園、八雲保育園、 やまもも保育園、ルビニ保育園、昭光保育園、相愛保育園、 東保育所、中保育所、東・南・西乳児保育所	中総合会館 コミュニテイ ホール
平成26年6月19日(木) 9:30～12:30 51人 13:40～16:20 49人	全体研修① 指 導:神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. 公開保育 2. カンファレンス(保育説明・講評・質疑) 3. ワークショップ ①ドキュメンテーション報告(中保育所、ルビニ・永福・東山保育園) ②講師指導・助言 参加園:永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、タンポポハウス、 なかすじ保育園、東山保育園、ルビニ保育園、八雲保育園、 やまもも保育園、中保育所、東保育所、東・南・西乳児保育所	中保育所 中総合会館 401研修室
平成26年6月30日(月) 約20人 午前 午後	実践研修(合同) 指 導:鳴門教育大学大学院 木下光二 教授 1. 岡田保育園・八雲保育園 年長児交流活動 2. 保育の振り返り、意見交換、指導・助言	岡田保育園
平成26年8月1日(金) 約30人 10:00～11:00 11:00～12:00 13:00～14:30 14:45～15:30 15:30～16:30	研究発表会(各園実践研修対象) 講師:神戸大学大学院 北野幸子 准教授 平成26年度幼児教育を考える研究会 年度テーマ「子どもにとっての遊びの意味を問い直す」 今回テーマ「遊びの中の子どもの学びをみとる」 ◎研究発表交流会 ①神戸市立神戸幼稚園 「気づき 感じ 考え 認め合って遊ぶ子供 ～幼児が夢中になって遊ぶ体験を通して、 規範意識の芽を育むための教師の援助を探る～」 ② 舞鶴市、中保育所 「舞鶴市プロジェクト型保育推進事業:パンづくりプロジェクトの実践」 ◎全体会Ⅰ ビデオ視聴と記録 ◎グループ協議 ◎全体会Ⅱ 各グループからの報告等 ◎講話	神戸大学附属 幼稚園(明石 市)
平成26年8月4日(月) 9:00～ 9:40 10:00～11:30 13:30～16:30 53人	全体研修② 舞鶴市小学校教育研究会生活科部夏季研究会保幼小連携研修会 指 導:鳴門教育大学大学院 木下光二 教授 1. 講師説明「幼児教育とは何か? 保育を見るときポイント」 2. 園見学[シオン幼稚園、中保育所] 3. 講演「遊びの中の学び、生活科の学び」 ビデオ視聴、グループワーク、グループ報告、指導・助言 参加:保育園(岡田、タンポポハウス、平、なかすじ、東山、八雲、相愛) 保育所(中、東、東乳児、南乳児) 幼稚園(朝来、シオン、橘、聖母、舞鶴) 小学校(三笠、倉梯、志楽、朝来、明倫、吉原、余内、池内、中筋、 福井、岡田、由良川)	中総合会館 401研修室



日 時	内 容	場 所
平成26年 8月 6日(水) 15:30～17:30 12人	<u>公開保育勉強会①</u> ～9/30東山保育園公開保育に向けて～ 参加園:東山保育園、ルンビニ保育園、中保育所…公開園	中保育所
平成26年 8月18日(月) 18:30～20:30	<u>事業発表「保育図書・保育雑誌編集委員会」</u> 発表:神戸大学大学院 北野幸子 准教授 舞鶴市子ども未来室 飯田美和 「研修を考えるー保育の質の向上に向けてー」 ※「プロジェクト型保育推進事業 保育の質の向上と可視化」に おける研修事業の報告	フレーベル館 本社(東京)
平成26年 9月12日(金) 15:30～17:30 15人	<u>ドキュメンテーション勉強会①</u> ～9/29に向けて～ 参加園:岡田保育園、タンポポハウス、東保育所…発表園	タンポポハウス
平成26年9月29日(月) 14:30～17:40 44人 9月30日(火) 9:40～12:20 42人	<u>全体研修③</u> 指 導:神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. グループワーク→発表→指導・助言 2. ドキュメンテーション報告(岡田保育園,タンポポハウス,東保育所) →指導・助言 1. 公開保育 2. カンファレンス 参加園:永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、平保育園, タンポポハウス、東山保育園、ルンビニ保育園、八雲保育園、 やまもも保育園、中保育所、東保育所、東・南・西乳児保育所	舞鶴市役所 大会議室 東山保育園
平成26年10月 7日(火) 15:30～17:30 14人	<u>公開保育勉強会②</u> ～10/23ルンビニ保育園公開保育に向けて～ 参加園:東山保育園、ルンビニ保育園、中保育所、東保育所…公開園	中保育所
平成26年10月16日(木) 15:30～17:30 15人	<u>ドキュメンテーション勉強会②-1</u> ～10/23・11/13に向けて～ 参加園:平保育園、やまもも保育園、東乳児保育所、南乳児保育所 …発表園	やまもも保育園
平成26年10月23日(木) 10:00～12:15 40人 13:00～16:30 51人	<u>全体研修④</u> 指 導:神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. 公開保育 2. カンファレンス 3. ドキュメンテーション報告(やまもも保育園,東乳児保育所,さくら保育園) →指導・助言 参加園:岡田保育園、さくら保育園、平保育園、タンポポハウス、 なかずじ保育園,東山保育園、ルンビニ保育園、八雲保育園、 やまもも保育園、中保育所、東保育所、東・南・西乳児保育所	ルンビニ保育園 林業センター 会議室
平成26年10月28日(火) 16:00～17:30 4人	<u>ドキュメンテーション勉強会②-2</u> ～11/13に向けて～ 参加園:八雲保育園…発表園 ※日程が合わず別日にしたもの	八雲保育園
平成26年11月13日(木) 9:40～12:30 33人 13:30～16:15 39人	<u>全体研修⑤</u> 指 導:神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1. 公開保育 2. カンファレンス 3. ドキュメンテーション報告(南乳児保育所、平保育園、八雲保育園) →指導・助言 参加園:岡田保育園、さくら保育園、平保育園、タンポポハウス、 なかずじ保育園,東山保育園、ルンビニ保育園、八雲保育園、 やまもも保育園、中保育所、東保育所、東・南・西乳児保育所	東保育所 舞鶴市役所 中会議室
平成26年11月28日(金) 16:30～17:30 4人	<u>ドキュメンテーション勉強会③-1</u> ～12/10に向けて～ 参加園:西乳児保育所…発表園	西乳児保育所



日時／参加者数	内 容	場 所
平成26年12月 2日(火) 16:30～17:30 4人	<u>ドキュメンテーション勉強会③-2</u> ～12/10に向けて～ 参加園:なかずじ保育園…発表園 ※日程が合わず別日にしたもの	なかずじ保育園
平成26年12月11日(木) 12:00～13:30 14:00～16:20 22人	<u>全体研修⑥</u> 指 導:神戸大学大学院 北野幸子 准教授 講師・園長・所長交流会議(意見交換・質疑) 1.ドキュメンテーション報告(西乳児保育所、なかずじ保育園) 2.各園から研修報告→意見交換→指導・助言 参加園:永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、平保育園、 タンポポハウス、なかずじ保育園、東山保育園、ルビニ保育園、 中保育所、東保育所、東・南・西乳児保育所	中総合会館 視聴覚室
平成27年1月27日(火) 16:00～17:30 約20人	<u>報告会検討会議</u> 参加者:各園代表保育士(副園長・主任等)	舞鶴市役所 和室
平成27年2月 4日(水) 16:00～17:30 約20人	<u>報告書検討会議</u> 参加者:各園代表保育士(副園長・主任等)	舞鶴市役所 和室
平成27年2月21日(土) 13:30～16:30 166人	<u>プロジェクト型保育推進事業 保育の質の向上研修</u> <u>平成26年度「報告会」</u> 講演・指導:神戸大学大学院 北野幸子 准教授 1.講演「これからの保育・乳幼児教育」 2.公開保育報告(事務局、ルビニ保育園・東保育所) 3.ドキュメンテーション報告(事務局) 4.ドキュメンテーション ライブ指導(東山保育園・中保育所) 5.全体講評 ※参加園によるドキュメンテーションの掲示 参加園:永福保育園、岡田保育園、さくら保育園、平保育園、 タンポポハウス、なかずじ保育園、東山保育園、ルビニ保育園、 八雲保育園、やまもも保育園、中保育所、東保育所、 東・南・西乳児保育所	西駅交流セン ター ホール

研修事業参加のべ人数：約950人